

観 点 発行者	17・教出	27・教芸
取扱内容 学習指導要領の総則 及び各教科の目標、 内容等	<p>○ 目標の達成を目指す歌唱の学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斉唱から混声三部合唱までについて、曲想と形式とのかかわりを理解したり、主旋律を担当するパートを確かめ、他の声部を聴きながら歌うために必要な技能を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫する活動（第1学年） ・斉唱から混声四部合唱までについて、曲想と曲全体の構成とのかかわりを理解したり、他の声部や伴奏と合わせて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・斉唱から混声三部合唱までについて、旋律の特徴や強弱の変化を理解したり、互いの声や伴奏をよく聴いて歌うために必要な技能を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫する活動（第1学年） ・斉唱から混声四部合唱までについて、曲想と歌詞の結び付きを理解したり、全体のまとまりに気を付けて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する活動（第2・3学年）
	<p>○ 目標の達成を目指す創作の学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のリズムやまとまりを理解したり、全体の構成を考えながら音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する活動（第1学年） ・音符のつなげ方によるリズムの違いを理解したり、選んだ言葉や音階の特徴を生かして表現するために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現を創意工夫する活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・音のつながり方の特徴を理解したり、音素材の特徴を生かしながら構成を工夫して音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する活動（第1学年） ・言葉の抑揚を生かすことを理解したり、音階を使って和音の動きに合わせて音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現を創意工夫する活動（第2・3学年）
	<p>○ 目標の達成を目指す鑑賞の学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、音階や曲の構成等を理解して、複数の音楽の特徴や関連について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く活動（第1学年） ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等についてリズムや旋律の反復による曲全体の構成等を理解して、音楽の役割や特徴を踏まえた共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化等を理解して、各地に伝わる音楽の特徴について自分なりに考え、音楽等のよさや美しさを味わって聴く活動（第1学年） ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声や楽器の音色、旋律の特徴等を理解して、世界各地の楽器と似た特徴をもつ日本の楽器の音楽などを聴き比べて共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く活動（第2・3学年）
	<p>○ 【共通事項】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容に示された【共通事項】を意識しながら、音楽のまとまりを生かして合わせて歌ったり、声の音色や出し方などの特徴を聴いたりする（第1学年） ・活動内容に示された【共通事項】を意識しながら、曲想を感じ取り、形式を生かして歌ったり、音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴いたりする（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容に示された【共通事項】を意識しながら、曲の構成を感じ取り表現を工夫して歌ったり、曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴いたりする（第1学年） ・活動内容に示された【共通事項】を意識しながら、曲想の変化を生かして表情豊かに歌ったり、作曲者の思いを感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりする（第2・3学年）
	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ対応する学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第1学年） ・「CMソングをつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「My Melody」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第1学年） ・「Let's Create!」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第2・3学年）

観 点	発行者 17・教出	27・教芸
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土の様々な民謡の学習の後に、日本とアジアの声による表現の特徴を聴き取ったり、日本と世界の歌唱における声の出し方を比較したりする活動（第1学年） 歌舞伎を鑑賞する学習の後に、歌舞伎と文楽を比較したり、オペラと歌舞伎の音楽の役割や特徴における共通点や相違点について考えたりする活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の民謡を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして民謡を歌ったり、郷土に伝わる民謡を調べたりする活動（第1学年） 文楽を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして義太夫節を語ったり、郷土の祭りや芸能について考えたりする活動（第2・3学年）
	<p>○ 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 84ページ（前回と同様） 第2・3学年（上） 84ページ（前回と同様） 第2・3学年（下） 84ページ（前回と同様） 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年 99ページ（24%増） 第2・3学年（上） 99ページ（24%増） 第2・3学年（下） 99ページ（24%増）
使用上の配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Let's Sing!」で表現するための技能を提示したり、作者の思いに触れるようにして、音楽を愛好する心情を育むことができるよう工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 「My Voice」で歌唱表現のための技能を提示したり、演奏者からのアドバイスを紹介して学習を深めることができるよう工夫がなされている
	<p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターの吹き出しによるヒントの提示 「比べてみよう」で学習した教材を比較して表現する活動を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターの吹き出しによるヒントの提示 「曲のよさをプレゼンしよう」でみんなに薦めたい曲のよさを音楽と関連付けてプレゼンテーションする活動を掲載
	<p>○ 使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> 配色やレイアウトへの配慮 ユニバーサルデザインフォントを使用する配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮 ユニバーサルデザインフォントを使用する配慮
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道民謡の「ソーラン節」や「江差追分」、本市や北海道に関係する「雪の降る街を」「時計台の鐘」などが取り扱われている 旭川市大雪クリスタルホール内に設置している詩碑や札幌コンサートホールKitaraのパイプオルガンなどの写真が取り扱われている 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道民謡の「ソーラン節」や「江差追分」や郷土の芸能として「アイヌ古式舞踊」が取り扱われている 地域のゲストティーチャーを招き、実際に楽器に触れたり音色を聴いたりする学習活動を設定した教材が取り扱われている
	<p>○ ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭にQRコードを掲載し、ウェブサイト「まなびリンク」で、映像と範唱の視聴、パートごとの演奏音源など授業に活用できる様々なコンテンツを設定するなどの工夫がなされている 「コンピュータと音楽」で音楽に関する知的財産権やインターネット上の音楽利用について学ぶ学習を設定する工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 要所にQRコードを掲載し、授業の参考資料として活用できる、画像データや外部サイトへのリンクが設定されるなどの工夫がなされている ICT機器を扱うことができる学習や音楽に関する知的財産権やインターネット上の音楽利用について学ぶ学習を設定する工夫がなされている
	<p>○ 小中連携した指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を手掛かりに、「話し合おう」への記述によって、音楽的な見方・考え方が深められる学習活動へと展開できるよう配慮がなされている 小学校の共通教材「ふるさと」が混声三部合唱で掲載されている 	<ul style="list-style-type: none"> 「My Melody」「Let's Create」で創作の手順が分かりやすく示され、小学校における「音楽づくり」の学習内容を踏まえながら学習を見通し、段階的に取り組めるよう配慮がなされている 小学校の共通教材「ふるさと」が混声三部合唱で掲載されている

観 点 発行者	17・教出	27・教芸
本市生徒の学習の状況	<p>○ 音楽の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を生かして表現を工夫する力の育成</p> <p>・主教材に関連する教材曲を掲載するとともに、巻頭の「学びのユニット」により、題材で扱う〔共通事項〕を分かりやすく示し、生徒が学習のポイントを視覚的に捉えて学ぶことができるよう工夫がなされている</p>	<p>・巻頭の「学習内容」において題材で身に付ける力を分かりやすく示すとともに、教材ごとに学習目標の下に〔共通事項〕を示すなどして、年間を通して生徒が身に付ける力を捉えることができるよう工夫がなされている</p>
	<p>○ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現する力の育成</p> <p>・表現するために必要な技能をイラストや図で分かりやすく示した「Let's Try」の活動を設定するとともに、気付きや考えを整理するワークシート欄の構成を工夫したり、段階を追って創作することができる「音のスケッチ」を設定したりするなどの工夫がなされている</p>	<p>・「深めよう音楽」で感じ取ったことを話し合う活動を設定するとともに、「音楽を形づくっている要素」のページやワークシート欄から表現するための知識や技能を身に付けることができるよう工夫がなされている</p>
	<p>○ 鑑賞において、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、自己のイメージや感情を伝え合い、互いの感じ方や考え方に共感する力の育成</p> <p>・「何が同じで、何がちがう」「話し合おう」で、比較して聴く活動や自分の感じたことを整理して紹介する活動を設定するなどの工夫がなされている</p>	<p>・鑑賞の視点を示した吹き出しを示し、他者との交流を通して言語活動の充実を図る活動を位置付ける工夫がなされている</p>
その他		